

【様式1】 平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	岐阜市	学校名	岐阜市立三輪中学校			
校長名	谷口邦彦	対象学年	1年	人数	117人	
活動名	総合的な学習の時間 「ふるさとに生きる」(1年)	時間数	36時間	継続年数	11年	
題材	① 自然環境 (山野・河川・動物・植物・その他) [ファミリーパーク地内で除伐体験学習・太陽光発電見学] ② 歴史 (出来事・史跡・先人・その他) [] ③ 文化 (芸能・芸術・民話・風習・その他) [] ④ 地場産業 (農業・水産業・伝統工芸・その他) [三輪地域での玉葱収穫体験・地産地消] ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [] ⑥ その他 () []					
複数年継続するための工夫改善	○食育の一環としての地元農家の協力 ○NPO法人「森と水辺の技術研究会」との連携 上記の団体との連携・協力による総合的な学習としてのカリキュラム作成					

1 ねらい

「ふるさとに生きる」をテーマに、ふるさとのよさを体感し、人間と自然との関わり方を学ぶ。

2 活動の概要

○三輪の里山の自然に関わる学習を通して、人と自然とのかかわり方を学ぶ活動を行う。

- ① NPO法人「森と水辺の技術研究会」を講師に地域にある再生エネルギー利用施設であるMEGA Solarぎふの見学と太陽光発電の仕組みや特徴、環境保全との関わりについて学習する。
- ② 地元で生産されている玉葱についての事前学習のあと、地元農家の協力による、玉葱収穫体験学習を行う。また、収穫物を自宅に持ち帰って調理したり、給食の食材として利用したりすることや、地域の方を招いた「ふれあい給食会」を実施する。
- ③ 学校図書館資料やインターネットで事前の調べ学習やまとめを行い、その後、日本の里山の現状と利用、里山保全の方法についてNPO法人「森と水辺の技術研究会」を講師として学習会及び地元の山で除伐体験学習を行う。さらに除伐した木材を乾燥させた後、薪にして翌年の宿泊学習での野外炊事燃料として無駄なく利用する。



3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・NPO法人「森と水辺の技術研究会」及び地元農家の方とふれあい、学習会、体験学習を実施。
- ・収穫した玉葱を地産地消し、給食に使用し、地域の方を招いたふれあい給食会を実施。
- ・岐阜市環境フェアに参加し、アースレンジャー子ども会議で学習成果を掲示で発表。

4 活動による児童生徒の変容 (伸長・成長等)

- 自然あふれる三輪地域の特徴を知ることやその地に生きる人々の生活を再認識できた。
- 食べることへの感謝と、里山の保全は人間を含め多くの生物が生きる環境を守ることにつながるということが理解できた。
- 玉葱収穫体験の生徒感想より
 - ・収穫作業は意外に大変なものだと分かった。ぼくは農家の人達の苦労を大切にするためにも、食物を残したり捨てたりしないで、食べる時はしっかり食べようと思った。
 - ・収穫を終えて食べ物のありがたさや、身をもってたくさんの方の人の努力を感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。